

# 第五回仁多米振興大会

仁多米の更なるステップアップを目指し、二年に一度行われている「第五回仁多米振興大会」が二月十四日、カルチャープラザ仁多で開催されました。

当日は、米生産者や来賓、関係機関などを含め約四百人が出席し、今後の仁多米の方向性などについて確認し合う有意義な大会となりました。はじめに井上町長から「食の安全安心への関心が高まる中、生産者一人ひとりが仁多米に誇りを持ち、良質な米生産に取り組みましょう」とあいさつがありました。

続いて、島根県専門農業普及員の福田誠氏から「仁多米



鈴木会長による記念講演



良質米品評会表彰式の様子

## 平成21年度 奥出雲町良質米品評会成績

うるち米の部			
出品数101点	氏名	自治会	
最優秀賞	藤原 忠次	小馬木本郷	
優秀賞	友塚 文明	上鴨倉	
	岸本 英義	中村	
	小早川定雄	大馬木第2本郷	
もち米の部			
出品数26点	氏名	自治会	
最優秀賞	藤原 康夫	石原・里田	
優秀賞	戸家 雄基	角木・乙多田	
	藤原 優	原口	
酒米の部			
出品数12点	氏名	自治会	
最優秀賞	若月 和男	川東	
優秀賞	松崎 廣	古市	
	山本 敦史	大曲	
仁多米ブランド特別賞	兒玉 利治	代山	
	赤名 忠	堅田	

栽培方針の実践と検証」と題して、土壌調査の結果報告があり、今後一層の化学肥料、化学農薬を低減した米づくりへの実践などが提言されました。次に、米・食味鑑定士協会の鈴木秀之会長から「新農業ビジネスへの変貌」と題した記念講演があり、「米の需要拡大は望めない厳しい状況であるからこそ、『農業』は新しいビジネスチャンスになる。時代の変化や消費者のニーズに対応し、生産者自らが意識改革を行い、米に付加価値を付けるなど、新しい取り組みが必要」と熱意を込めて話されました。

また、「食と農が育む子供の未来」と題して、「世界がもし百人の村だったら」の著者で、ドイツ文学翻訳家の池田香代子さんと一味同心塾館長の中村成子さんによる対談もあり、参加者は、更なる仁多米の推進と安全安心な米づくりに向け、意欲を高める大会となりました。

なお、当日は平成二十一年度良質米品評会の表彰式も併せて行われました。



池田香代子さん(左)と中村成子さん(右)による対談の様子

## 奥出雲の新しい味 「ご当地グルメ」試食会

地元の食材を活かした「ご当地グルメ」を開発し、地域の活性化を図ろうと、地元有志でつくる「新・ご当地グルメを創る会」(吉川朋美会長)が先月発足し、このたび初めての試食会が開催されました。

料理は、仁多米を使った料理を中心に、キノコのおんかけ丼や仁多牛の石焼きビビンバ、焼きおにぎりに和牛入りスープをかけた料理などが並べられました。

試食した参加者からは「地元食材のおいしさを再認識した。その一方で、観光誘客につなげるには、もっとインパクトが必要」などの意見がありました。

吉川会長は「奥出雲の観光の目玉になるような『食』をつくりたい」と意欲を見せていました。

## 地産地消弁当コンテスト

### 「食彩の里 玉峰」が最優秀

地元の農産物を使って作った弁当の出来栄を競う「地産地消弁当コンテスト」が二月五日、雲南市木次町のJA雲南で開催されました。

このコンテストの最優秀賞に、亀高の「食彩の里玉峰」(重柄保久代表)が作った「奥出雲和牛スキコロ弁当」が選ばれました。

また、優秀賞(第二位)には、いきいきアグリ馬木(松島美代子代表)の「馬木の恵み弁当」が選ばれました。



最優秀賞(食彩の里玉峰)「奥出雲和牛スキコロ弁当」



優秀賞(いきいきアグリ馬木)「馬木の恵み弁当」



ご当地料理を試食する参加者

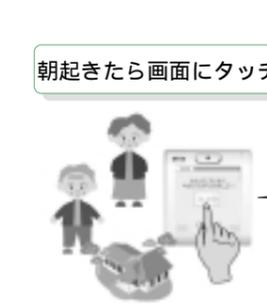
同会では、今後も試食会を重ね、今年秋のメニュー化を目指し、「ご当地グルメ」づくりに取り組みます。

## 安否確認 おはようタッチメールサービスがスタート

### 「今日も元気だよ」 遠方家族へ安心届ける



の世帯に設置したテレビ電話システムを、今回さらに充実させ、毎朝六時三十分自動でテレビ電話の画面が立ち上がり、画面に映るだけで、登録した携帯電話やパソコン(一世代あたり最大三件まで登録)あてにメールが送信され、安否を確認することができます。高齢者家庭から利用者を募り、二月一日現在で六十世帯が利用されています。



町では、高齢者の方が朝テレビ電話の画面に触れるだけで、遠方に住む家族のパソコンや携帯電話にメールが届く、安否確認「おはようタッチ」メール発信サービスを開始しました。

昨年一月に、七十五歳以上

「おはようタッチ」テレビ電話に関するお問合せは： 情報政策課 有線 5431 5251 2530

## 町内文化施設等の無料開放について

島根県では、毎月第3日曜日を「しまね家庭の日」として、家族の団らん、コミュニケーションの機会を増やし、温かい家庭づくりの推進を行なっています。

奥出雲町でも「しまね家庭の日」協賛事業として、平成22年2月から次の施設について「ご家族で来館された高校生以下の方の入館料、入湯料を無料」とします。

- 【対象施設】
- (財) 絲原記念館
  - (財) 可部屋集成館
  - 奥出雲多根自然博物館
  - 櫻井家住宅・日本庭園
  - 奥出雲たたらと刀剣館
  - 雲州そろばん伝統産業会館
  - 亀高温泉「玉峰山荘」
  - 斐乃上荘・ヴィラ船通山
- (1~3月休館)

入館の際、学生証の提示をお願いします。  
【実施日】 毎月第3日曜日(平成22年2月から)  
【お問合せ先】 奥出雲町教育委員会  
有線 20 4263 電話 52-2680  
青少年育成奥出雲町民会議(町民課)  
有線 20 4101 電話 52-2674



亀高温泉「玉峰山荘」

奥出雲たたらと刀剣館